

附属やまぐち学園だより

やまぐち学園教育目標：発見し、はぐくみ、かたちにする学びの広場
めざす人間像：よりよい未来を共に創り出す人間

第7号 2023年2月8日(水)

山口大学教育学部附属幼稚園

〒753-0070 山口市白石三丁目1番2号 TEL 083-933-5960

山口大学教育学部附属山口小学校

〒753-0070 山口市白石三丁目1番1号 TEL 083-933-5950

山口大学教育学部附属山口中学校

〒753-0070 山口市白石一丁目9番1号 TEL 083-922-2824

豆まきの記憶

山口大学教育学部附属幼稚園 副園長 大森 洋子

2月3日、附属幼稚園でも「豆まき」をしました。園児たちがテラスで元気よく「鬼はそとー」と豆をまいていると、赤鬼と青鬼（校長先生と附属山口小の教頭先生になっていただきました）が登場。怖い鬼が「悪い子はおらんかー」などと暴れる姿に、一生懸命豆を投げる園児もいれば、泣き出してしまいう園児もいました。皆で一生懸命豆を投げると、鬼たちはついに「降参だー」と退散していき、園児たちはホッと胸をなでおろしました。



ところで、この定番スタイルの「豆まき」が、園児にとってはどんな意味があるのだろうかと考えるとき、やはり、まずは日本に古くからある伝統的な行事を伝えていく、ということをお願いしたいと思います。昔の人は、季節の変わり目に起こりがちな病気や不幸、災害等の災いを招くのが鬼だと考えて（あるいはそれらを鬼に見立てて）、悪いものを追い払い、幸運が舞い込むようにと願う儀式として豆まきをしていました。「豆まき」は、単に鬼に豆を投げるイベントではなく、鬼（邪気・冬）を外へ追い払って、福（幸せ・春）を呼び込むことを大切にしたいと思うのです。

何年も前のことになりますが、豆まきの日に、鬼が怖くて仕方ない園児たちの姿を目の当たりにした私たちは、「こんなに怖い思いをさせてよいのだろうか」と疑問に思ったことがありました。ときには「怖い経験」も必要かも知れませんが、「怖かった」だけで終わってしまうのはどうだろうか、それを乗り越えた気持ちや、乗り越えたことでよい結果が訪れた実感をもっと湧くようにするにはどうしたらよいのだろうか、と職員みんなで考えたのです。そして、ある年から、附属幼稚園の豆まきには、「怖い鬼を頑張って退治したら、その後に福の神がやって来て、紙吹雪を撒いて春（幸せ）の訪れを知らせてくれる」ようになりました。附属山口小学校・山口中学校の子どもたちも、附属幼稚園時代にこのスタイルの豆まきを経験して大きくなっています。

このように、豆まき一つとっても、子どもにとって何が大切か、どんな行事であればよいのかなどと考えることはたくさんあります。私たちやまぐち学園の教職員は、「よりよい未来を共に創り出す人間」をめざす人間像として日々教育に励んでいますが、そのような教育が可能となるには、教師自身もよりよい未来を共に創り出す人間でなければならないと思います。子どもたちも教職員も、「よりよくしたい」「よりよく生きたい」と願う気持ちが大切であり、目の前の課題を解決しようとする意欲こそが原点ではないかと思うのです。「よりよい未来を共に創り出す人間」の一人として、精進していきたいなあと思う日々です。

さて、豆まきの前日と前々日には、畳の上に火鉢を置いて、「ほうろく」を使って園児と一緒に大豆を炒りました。「昔のストーブなの？」「あったかい、すごい」「炭って木からできてるの？」「バーベキューで使うよね」「鬼は丸いものが嫌いなんだって」「いい匂い」「きな粉になるよね」「『焼く』でも『煮る』でもなくて、『炒る』って言うんだよ」「順番に炒ろうね」「豆の皮がむけて長細くなってきたよ」「心の中の鬼も追い払おうといいんだって」・・・そんなことをたくさん話し、五感で感じながら豆炒りの体験をした子どもたち。どれも些細なことできっと忘れてしまうのですが、そのときに心が動き、何かを感じたということとはとても大切なことだと思います。そのことがうっすらとでも記憶に残っていたらいいなあと思います。

【附属幼稚園】

年長児は、1月に2回、食生活の大事さや体と健康について学ぶ機会をもちました。1月17日には、山口市食生活改善推進協議会白石地区食育ボランティアの方による、食に関するエプロンシアターで、健康な体はバナナうんちが出ること、そのためにはよく噛んでバランスよく食べることなどを視覚的に食べたものが体の中を通っていく様子を見ながら楽しく学びました。1月27日には、園医の田原クリニック院長先生と看護師さんから、臓器のイラストを見ながら体の話について教わったり、聴診器で心臓の音や脈を聞かせてもらったりして、体の中のことや健康について興味をもつことができました。



【附属山口小学校】

1年生や2年生が、附属幼稚園の子どもたちと交流しました。1年生は、生活科の学習でつくった「お店やさん」に星組の子どもたちを招待し、そのお返しに幼稚園のお店やさんに招待してもらいました。2年生は、体育の授業に星組の子どもたちを招待し、一緒に体づくり運動に取り組みました。園児も小学生も、笑顔いっぱいの楽しい時間を過ごすことができました。

12月には、今年度最後のクラブ活動を行いました。クラブ活動で異学年の子どもたちと協働した経験が、中学校での部活動や特別活動に生きていくことでしょう。1月には、4・5年生への委員会オリエンテーションを行いました。学校を引っ張ってくれた6年生の思いを受け継ぎ、新体制で学校全体を動かすことができるよう、準備を進めています。



【附属山口中学校】

12月8日に生徒会選挙が行われ、1月10日の任命式から、新生徒会として活動を開始しました。任命式では、新生徒会長の宮原明優さんから「つながる・つくる・つかみとる」という新生徒会のめざす姿が示されました。



そして、1月のテーマを「伝」とし、中央委員会や実行専門委員会で、クラスでの具体的な実践内容を考えました。2年生を中心とした生徒会のこれからの活躍が期待されます。



「第22回創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会」が1月28・29日にオンラインで開かれ、本校から3チームが出場しました。自動制御ロボットと操縦して動かすロボットで競う応用発展部門で、チーム「ミズーリ（齋藤聡記・米田昇生・岡本連・藤村泰也・宮本智徳・廣津良太）」が4位入賞し、「審査委員特別賞」を受賞しました。よりよいロボットの完成をめざし、試行錯誤と操作の練習を重ねた日々が実りました。すばらしい快挙です。



本校合唱団の有志チーム「ひひらぎⅢ」が、山口県予選大会で金賞を受賞し、3月16日から福島県で開催される「第16回声楽アンサンブルコンテスト全国大会」に出場予定です。

